

現地発表 9月2日(土)

基調講演

第1会場 メインホール 16:30~18:00

📺 音楽のハードル

—知的障がいを持った子供たちとの17年にわたる音楽経験から—

P.28

大友 良英 (音楽家)

教育講演

第1会場 メインホール 10:30~12:00

📺 多様性を認めあう地域共生社会と伴走型支援

P.29

原田 正樹 (日本福祉大学 学長)

特別講演 I

第1会場 メインホール 9:20~10:20

📺 ALSと音楽と私

P.30

恩田 聖敬 (株式会社まんまる笑店 代表取締役社長)

国家資格推進委員会企画 シンポジウム 1

第1会場 メインホール 13:00~14:30

📺 認知症予防と音楽療法

音楽療法は疾患の予防にどのように貢献できるか

P.32

シンポジスト 浦上 克哉 (一般社団法人日本認知症予防学会代表理事)

西野 憲史 (一般社団法人日本認知症予防学会副理事長)

秋野 公造 (参議院議員・一般社団法人日本音楽療法学会顧問)

藤本 禮子 (一般社団法人日本音楽療法学会理事長)

司会 村林 信行 (一般社団法人日本音楽療法学会常任理事)

国家資格推進委員会企画 シンポジウム 2

第1会場 メインホール 14:40~16:10

📺 国家資格化は今!—5—

~国家資格化へ向けて、これから~

P.34

シンポジスト 上川 陽子 (衆議院議員・一般社団法人日本音楽療法学会顧問)

秋野 公造 (参議院議員・一般社団法人日本音楽療法学会顧問)

藤本 禮子 (一般社団法人日本音楽療法学会理事長)

二俣 泉 (一般社団法人日本音楽療法学会副理事長)

司会 木下 容子 (一般社団法人日本音楽療法学会理事)

一般研究発表 1

第2会場 大会議室 A 9:20~10:30

座長：村林 信行

高齢者 1

📺 O-01 クラスター隔離時非感染の認知症患者への電子楽器演奏

P.37

9:20~9:40

近藤 瑛佑

O-02 中等度認知症2例のウェルビーイングと行動・心理症状に対する音楽療法の影響 (第2報)

9:45~10:05

P.38

上羽 (糟谷) 由香

O-03	A-QOA 評価法の音楽療法臨床への活用についての検討	P.39
10:10~10:30	佐々木 和佳	

一般研究発表 2

第2会場 大会議室 A 10:40~11:50

座長：猪之良 高明

児童・成人

O-04	コミュニケーション行動の乏しいダウン症の成人への個人音楽療法 —課題を歌にのせて実施した効果の検討—	P.40
10:40~11:00	二俣 裕美子	
O-05	対人関係に偏りを示すダウン症者 A さんに対する音楽を介入させた事例	P.41
11:05~11:25	木下 陸央	
📄 O-06	適切なコミュニケーション行動の表出を目指した知的発達症成人への音楽療法 —オリジナル曲が果たした役割—	P.42
11:30~11:50	中川 志乃里	

一般研究発表 3

第3会場 大会議室 B 11:05~11:50

座長：岩永 誠

基礎・学術 1

O-07	COVID-19 禍以降の音楽療法の職業アイデンティティに関する質的研究 (1) ～インタビュー分析結果の中間報告～	P.43
11:05~11:25	生野 里花	
📄 O-08	音楽療法士養成教育課程に学ぶ学生の学びと成長の、学生による意識調査 第2報	P.44
11:30~11:50	阿曾 亮子	

一般研究発表 4

第4会場 大会議室 C 11:05~11:50

座長：馬場 存

精神

O-09	精神科デイケアにおける打楽器集団音楽療法で自己表現の可能性に挑戦する ～ジャンベ演奏を通して～	P.45
11:05~11:25	下出 理恵子	
O-10	精神障害者の地域移行における音楽療法の役割—リカバリー概念を軸に—	P.46
11:30~11:50	三浦 直美	

一般研究発表 5

第 5 会場 第 5 会議室 11:05~11:50

座長：高橋 多喜子

高齢者 2

- O-11 「A氏はイメージと音楽を使い、どのように生きる力を取り戻したか」
11:05~11:25 ~ GIM を活用した一事例~ P.47
尾形 由貴
- O-12 術後回復期に、家族による音楽を用いたアプローチの一例 P.48
11:30~11:50 高野谷 依子

自主シンポジウム 1

第 3 会場 大会議室 B 9:20~10:50

- SS-01 音楽療法士はどうやって働いているのか
9:20~10:50 ~参加者と共に現場の話を共有し音楽療法士のコミュニティ作りを促す~ P.93
天木 瑠里子

自主シンポジウム 2

第 3 会場 大会議室 B 13:00~14:30

- SS-02 多様な現場における音楽療法士の役割と意義
13:00~14:30 -学校現場や地域の音楽教室での配慮と工夫- P.94
佐々木 かすみ

自主シンポジウム 3

第 4 会場 大会議室 C 9:20~10:50

- SS-03 強化子として感覚刺激を活かす
9:20~10:50 -知識構造化を通して見えてきた非定型発達児への実践アプローチ- P.95
柿崎 次子

自主シンポジウム 4

第 4 会場 大会議室 C 13:00~14:30

- SS-04 般化を目指した感覚統合的アプローチ
13:00~14:30 -個々の感覚特性を活かして ADL へつなげるための活動- P.96
柿崎 次子

自主シンポジウム 5

第 5 会場 第 5 会議室 9:20~10:50

- ㊦ SS-05 医療現場で働く音楽療法士に問う・私たちだからこそできることは何だろうか？
9:20~10:50 ~国家資格化を見据えて~ P.97
松鹿 滋子

自主シンポジウム 6

第 5 会場 第 5 会議室 13:00~14:30

- SS-06 音楽療法士は「先生」か？
13:00~14:30 -呼称から考える音楽療法士の専門性とアイデンティティ- P.98
三浦 直美

現地発表 9月3日(日)

特別講演Ⅱ

第1会場 メインホール 10:30~12:00

- 📄 生きるために文化がある～「表現未満」の試み P.31
 久保田 翠（認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長）

日野原賞受賞記念講演

第1会場 メインホール 9:20~10:20

- 📄 授賞式 9:20～9:40
 受賞記念講演 論文部門 9:40～10:00
 活動部門 10:00～10:20 P.36

一般研究発表 6

第2会場 大会議室 A 9:20~10:05

座長：三宅 聖子

高齢者 3

- 📄 O-13 音楽療法における LIFE 課題の目的共有と実施方法の検討による事例
 9:20~9:40 ～コロナ禍の専門職とスタッフとの協働～ P.49
 工藤 記代子
- O-14 メトロノームを取り入れた歩行訓練
 9:45~10:05 音楽療法とリハビリテーションの専門的知識が生んだ相乗効果 P.50
 鈴木 晴世

一般研究発表 7

第2会場 大会議室 A 10:15~11:00

座長：羽石 英里

高齢者 4

- O-15 コロナ禍の工夫 感染予防チェックリストの作成（第二報） P.51
 10:15~10:35 塩見 夏奈子
- 📄 O-16 老健入所フロアで便秘対策のため作成した「快腸体操」
 10:40~11:00 ～オリジナル楽曲による腹部刺激の体操ができるまで～ P.52
 高橋 智里

一般研究発表 8

第2会場 大会議室 A 11:10~11:55

座長：榊原 美紀

児童 1

- 📄 O-17 異文化における音楽療法導入とコンテインメントについて
 11:10~11:30 ～アフリカ・ザンビアにおける音楽療法を通して～ P.53
 横堀 正枝
- 📄 O-18 障がいをもつ幼児期の子どもの多様な音楽表現の表出における一考察
 11:35~11:55 ～太鼓の即興活動の分析を通して～ P.54
 三川 美幸

一般研究発表 9

第2会場 大会議室 A 13:00~13:45

座長：奥村 由香

児童 2

- 0-19 自閉スペクトラム症の子どもの自己生成を支援する音楽について P.55
 13:00~13:20 ー音楽療法士の実感の描出による質的研究ー
 山本 知香
- 📺 0-20 音楽療法臨床への行動分析学の応用 (3) P.56
 13:25~13:45 ーABA技法を臨床に適用する過程の検討ー
 木下 容子

一般研究発表 10

第2会場 大会議室 A 13:55~15:05

座長：吉村 奈保子

児童 3

- 0-21 児童発達支援・放課後等デイサービスにおける音楽療育での取組みについて P.57
 13:55~14:15 木村 奈々
- 0-22 音楽療法の要素を用いた特別支援学校における音楽科の授業「動く色楽譜」を P.58
 14:20~14:40 導入したハンドベル演奏の事例
 日吉 穂歌
- 0-23 認定こども園での定期的音楽活動における臨床判断の”見える化” P.59
 14:45~15:05 脇田 和子

一般研究発表 11

第3会場 大会議室 B 9:20~10:05

座長：松原 まゆみ

成人 1

- 0-24 気分と音楽の関係性についての検証 ~同質の原理の臨床的利用を目指して~ P.60
 9:20~9:40 小橋 昌樹
- 0-25 障害者(成人期)の集団療法の意義について考察する P.61
 9:45~10:05 ~COVID-19対策によるリモート音楽療法~
 松下 純子

一般研究発表 12

第3会場 大会議室 B 10:15~11:00

座長：猪狩 裕史

児童 4

- 0-26 自閉症スペクトラム障害と粘膜下口蓋裂を合併した児のコミュニケーションを P.62
 10:15~10:35 支援する音楽療法
 新谷 ゆかり

- O-27 無発語の神経発達症児の音楽療法
10:40~11:00 ~発声頻度の増加を目指した事例の経過報告~
鈴木 裕也 P.63

一般研究発表 13

第3会場 大会議室B 11:10~11:55

座長：伊藤 美恵

技法・方法論

- 📺 O-28 「地域に開かれた病院づくり」協働者としての音楽療法士
11:10~11:30 ~アートと音楽の融合「サクラの物語」~
松井 千代子 P.64
- O-29 自動作曲システム設置による wellbeing 向上効果の基礎研究
11:35~11:55 —医療用アプリ開発を目的として—
柴 玲子 P.65

一般研究発表 14

第3会場 大会議室B 14:40~15:25

座長：吉田 豊

成人2

- O-30 音楽活動を通じた共創の場作り
14:40~15:00 —実践活動から参加者の協働による研究へ向けて—
三宅 博子 P.66
- O-31 コミュニティ音楽療法としての作曲賞創設及び事業展開
15:05~15:25 —stop セクハラ・DV・性暴力の社会的仕掛けとして—
草柳 和之 P.67

一般研究発表 15

第4会場 大会議室C 11:10~11:55

座長：渡辺 恭子

基礎・学術2

- O-32 合奏が精神的健康に及ぼす効果について
11:10~11:30 鍋田 紘美 P.68
- O-33 認知症者の音楽のアセスメント尺度 (MiDAS) 日本語翻訳暫定版作成：
11:35~11:55 言語的妥当性の検討 第1報
近藤 里美 P.69

一般研究発表 16

第4会場 大会議室C 14:40~15:25

座長：栗野 理恵子

高齢者 5

- O-34 パーキンソン病を有する高齢者への個人音楽療法
14:40~15:00 —ピアノを弾くことでさらなる意欲向上に繋がった1症例— P.70
長尾 弥由
- O-35 ピアノ初心者の高齢者が「好きな曲を両手で弾く」ためのセッションの検討
15:05~15:25 —作業療法と音楽療法を統合して— P.71
木村 仁美

自主シンポジウム 7

第3会場 大会議室B 13:00~14:30

- 📺 SS-07 ポストコロナ時代のオンライン音楽療法を考える P.99
13:00~14:30 阿部 真貴子

自主シンポジウム 8

第4会場 大会議室C 9:20~10:50

- SS-08 「音楽療法士が生と死について語り合うこと」を考える P.100
9:20~10:50 尾形 由貴

自主シンポジウム 9

第4会場 大会議室C 13:00~14:30

- SS-09 特別支援学級の現場から～音楽療法士の専門性が活かされる授業実践(2)～ P.101
13:00~14:30 伊藤 啓子

自主シンポジウム 10

第1会場 メインホール 13:00~14:30

- SS-10 地域における参加型音楽活動の担う役割と課題
13:00~14:30 ～継続可能なシステムの構築に向けて～ P.102
米倉 裕子

自主シンポジウム 11

第1会場 メインホール 14:40~16:10

- SS-11 音楽療法士の地域との関わり方の様々 —繋がるための工夫について考える— P.103
14:40~16:10 水野 順子

オンデマンド配信

下記の発表は Web 開催サイトよりご視聴いただけます。

【公開期間：2023年9月1日（金）～9月27日（水）】

一般研究発表 1

高齢者 1

- 0-01 クラスター隔離時非感染の認知症患者への電子楽器演奏 P.37
近藤 瑛佑

一般研究発表 2

児童・成人

- 0-06 適切なコミュニケーション行動の表出を目指した知的発達症成人への音楽療法
—オリジナル曲が果たした役割— P.42
中川 志乃里

一般研究発表 3

基礎・学術 1

- 0-08 音楽療法士養成教育課程に学ぶ学生の学びと成長の、学生による意識調査
第 2 報 P.44
阿曾 亮子

一般研究発表 6

高齢者 3

- 0-13 音楽療法における LIFE 課題の目的共有と実施方法の検討による事例
～コロナ禍の専門職とスタッフとの協働～ P.49
工藤 記代子

一般研究発表 7

高齢者 4

- 0-16 老健入所フロアで便秘対策のため作成した「快腸体操」
～オリジナル楽曲による腹部刺激の体操ができるまで～ P.52
高橋 智里

一般研究発表 8

児童 1

- 0-17 異文化における音楽療法導入とコンテインメントについて
～アフリカ・ザンビアにおける音楽療法を通して～ P.53
横堀 正枝
- 0-18 障がいをもつ幼児期の子どもの多様な音楽表現の表出における一考察
～太鼓の即興活動の分析を通して～ P.54
三川 美幸

一般研究発表 9

児童 2

- 0-20 音楽療法臨床への行動分析学の応用 (3)
－ ABA 技法を臨床に適用する過程の検討－ P.56
木下 容子

一般研究発表 13

技法・方法論

- 0-28 「地域に開かれた病院づくり」協働者としての音楽療法士
～アートと音楽の融合「サクラの物語」～ P.64
松井 千代子

一般研究発表 17

オンデマンド配信のみ

事例・実践

- 0-36 ノードフ・ロビンス音楽療法における個人セッションの評価
～スケール I の参加と抵抗の質について～ P.72
松尾 香織

技法・方法論

- 0-37 発達・知的障害児童を対象とした音楽能力の評価指標及び評価方法の開発 P.73
児玉 千賀子
- 0-38 外来通院者対象の言語と音楽の活動
～音楽療法士の役割と集団音楽活動の有用性～ P.74
畠田 素子

その他

- 0-39 職業音楽療法士におけるコンピテンシー・モデルの開発
～ BEI 面接結果の主題分析から仮説を生成する試み～ P.75
金築 朋子
- 0-40 サルコペニア対策における音楽療法効果の一考察
～デイサービスでの集団音楽療法～ P.76
白木 淳子

事例・実践

- P-01 施設入所のストレス緩和を目指した音楽療法
～重度知的障害者が入所施設での生活に早期に慣れるために～ P.77
岸田 由起
- P-02 1 型糖尿病生徒の学習意欲と集中力を高める音楽療法を用いた授業の取り組み P.78
菅原 安恵
- P-03 中等度のアルツハイマー型認知症患者の音楽療法
～半年間の実践を通じた音楽療法効果を考える～ P.79
加藤 佳子
- P-04 対面と COVID-19 対策のリモート音楽療法実習の報告
～ 2 種の音楽療法実習での学び～ P.80
富田 優子
- P-05 不安障がいおよび強迫性障がいのある児童 A さんへの小児科カウンセリング
ルームでの音楽療法 P.81
小高 洋子
- P-06 神経難病患者に対する心理療法と音楽療法との協働の可能性（その 1） P.82
加戸 敬子
- P-07 知的障がい特別支援学校「自立活動」における歌唱活動の取組
～対人関係スキルの向上を目指したアプローチ～ P.83
越知 ひとみ
- P-08 豊かに外界と関わる力を育むために～脳性まひ男子生徒の音との出会い P.84
関原 彩子

基礎・学術

- P-09 歌唱における 4 種類のテンポ設定と唾液分泌量の関係 P.85
甲谷 由美子
- P-10 受容的音楽聴取の教示呈示の違いが心理的反応に及ぼす影響 P.86
栗野 理恵子
- P-11 前言語期にとどまる知的障害幼児への個別音楽療法（7）
～特定のリズム表現の拡がり～ P.87
白川 ゆう子
- P-12 要介護高齢者の通所介護施設における音楽療法
～集団支援としての音楽療法士の介入の分析～ P.88
横井 和美

技法・方法論

- P-13 就労移行支援事業所での調整的音楽療法の実践 P.89
井桁 希
- P-14 音楽療法に運動療法を併用する新たな認知症予防法の指導者講習会と
その有効性 P.90
小口 江美子

その他

- P-15 介護老人保健施設での音楽活動 DVD の活用方法の検討
～アンケート結果と DVD 作成のプロセスからの気づき～ P.91
小森 亜希子
- P-16 ノードフ・ロビンス音楽療法における即興テクニック P.92
丹羽 裕紀子

自主シンポジウム 5

- SS-05 医療現場で働く音楽療法士に問う・私たちだからこそできることは何だろう？
～国家資格化を見据えて～ P.97
松鹿 滋子

自主シンポジウム 7

- SS-07 ポストコロナ時代のオンライン音楽療法を考える P.99
阿部 真貴子

自主シンポジウム 12

オンデマンド配信のみ

- SS-12 音楽療法場面でのクライアントの常同と「こだわり」 P.104
馬場 存

【公開期間：2023年9月13日（水）～9月27日（水） ※現地講演の録画配信】

基調講演

音楽のハードル
—知的障がいを持った子供たちとの17年にわたる音楽経験から— P.28
大友 良英（音楽家）

教育講演

多様性を認めあう地域共生社会と伴走型支援 P.29
原田 正樹（日本福祉大学 学長）

特別講演 I

ALS と音楽と私 P.30
恩田 聖敬（株式会社まんまる笑店 代表取締役社長）

特別講演 II

生きるために文化がある～「表現未満、」の試み P.31
久保田 翠（認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ 理事長）

国家資格推進委員会企画 シンポジウム 1

認知症予防と音楽療法
音楽療法は疾患の予防にどのように貢献できるか P.32
シンポジスト 浦上 克哉（一般社団法人日本認知症予防学会代表理事）
西野 憲史（一般社団法人日本認知症予防学会副理事長）
秋野 公造（参議院議員・一般社団法人日本音楽療法学会顧問）
藤本 禮子（一般社団法人日本音楽療法学会理事長）
司会 村林 信行（一般社団法人日本音楽療法学会常任理事）

国家資格推進委員会企画 シンポジウム 2

国家資格化は今！—5—
～国家資格化へ向けて、これから～ P.34
シンポジスト 上川 陽子（衆議院議員・一般社団法人日本音楽療法学会顧問）
秋野 公造（参議院議員・一般社団法人日本音楽療法学会顧問）
藤本 禮子（一般社団法人日本音楽療法学会理事長）
二俣 泉（一般社団法人日本音楽療法学会副理事長）
司会 木下 容子（一般社団法人日本音楽療法学会理事）

日野原賞受賞記念講演

授賞式
受賞記念講演 論文部門 P.36
活動部門